

平成30年度当初予算知事審査における主要な議論（企業局）

■ 産業団地整備事業費（地域5～地域8）

知事 拡張型の団地整備は、既存のインフラを活用することでスピーディーに、かつ安価に団地整備を進められ、効率的な手法だと思う。来年度事業化を予定している2団地の他にも候補はあるか。

担当部局 現在、拡張ニーズがある企業についていくつか把握している。地元市町村や産業労働部と連携しながら進めていく。

知事 北関東の各県では㎡単価を低く設定していると聞いている。北関東と比較して埼玉の㎡単価はどれくらいか。

担当部局 草加柿木地区産業団地では、立地要件の良さもあって㎡単価を高く設定しているが、それでも企業のエントリー状況は良好である。行田富士見工業団地拡張地区産業団地などは、隣接する他県と勝負しなければならないので、それに見合った㎡単価を考えている。

平成30年度予算見積調書

課室名：地域整備課
 担当名：計画・造成担当
 内線：7133

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
地域5 ～地域8	産業団地整備事業費			地域整備事業	資本的支出	建設改良費	松伏・田島地区産業団地整備事業費 ほか	地域整備事業 (松伏・田島地区産業団地整備事業費 ほか 3 事業費)	
事業期間	平成30年度～平成32年度	根拠法令	埼玉県公営企業の設置等に関する条例			宣言項目	08 稼ぐ力の向上		
					分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進			
1 事業の概要 一層高まる企業立地ニーズに迅速に対応し、雇用創出や産業集積による地域経済の活性化を図るため、松伏町、川越市と連携して産業団地の整備を行う。 また、地元企業の敷地拡張ニーズに対応し、スピーディーな産業団地整備による雇用創出や地域経済の活性化を図るため、行田市、嵐山町と連携して既存の産業団地の拡張地区を整備する。 (1) 松伏・田島地区 3,201,562千円 (2) 川越増形地区 5,546,814千円 (3) 行田富士見工業団地拡張地区 1,088,941千円 (4) 嵐山花見台工業団地拡張地区 686,897千円				5 事業説明 (1) 事業内容、計画 ア 松伏・田島地区産業団地整備事業費 (松伏町松伏・田島地区) 3,201,562千円 ・事業期間：平成30年度～平成32年度 ・施行予定面積 (うち分譲予定面積)：約183,000㎡ (約150,700㎡) ・総事業費 (継続費)：6,569,962千円 ・平成30年度事業概要：用地買収、実施設計、環境調査、仮設道路工等 イ 川越増形地区産業団地整備事業費 (川越市増形、狭山市柏原新田地区) 5,546,814千円 ・事業期間：平成30年度～平成31年度 ・施行予定面積 (うち分譲予定面積)：約168,000㎡ (約123,000㎡) ・総事業費 (継続費)：6,549,814千円 ・平成30年度事業概要：用地買収、実施設計、環境調査、造成工事 (盛土、道路、調整池工事等) 等 ウ 行田富士見工業団地拡張地区産業団地整備事業費 (行田市大字若小玉地内) 1,088,941千円 ・事業期間：平成30年度～平成32年度 ・施行予定面積 (うち分譲予定面積)：約68,600㎡ (約60,500㎡) ・総事業費 (継続費)：1,651,086千円 ・平成30年度事業概要：用地買収、実施設計、環境調査、仮囲い設置等 エ 嵐山花見台工業団地拡張地区産業団地整備事業費 (比企郡嵐山町花見台・勝田地区) 686,897千円 ・事業期間：平成30年度～平成32年度 ・施行予定面積 (うち分譲予定面積)：約92,600㎡ (約64,800㎡) ・総事業費 (継続費)：1,286,697千円 ・平成30年度事業概要：用地買収、実施設計、環境調査、伐採工事等					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×12.0人=114,000千円				(2) 事業効果 産業の振興、県民の雇用機会拡大及び地域経済の活性化					
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		内部留保資金							
決定額	10,524,214	10,524,214						10,524,214	
前年額									